

「小利を見れば大利ならず」

「小利を見れば大利ならず」とは、小さな利益に目がくらむと大事は成就しないという意であろう。

この小利とは金銭の多少を意味する小さな利益という意味ではない。小利とはやはり目先だけの、その場その時だけの、また生きていく時だけの利益にこだわる生き様を指すのであろう。今さえよければ、今さえ儲ければよいというそんな利益、例えば、人を騙したり、賄賂や人を苦しめて得たようなお金、そんな儲けはそれが百億だろうと、それは所詮小利でしかない。

したがって、小利は目の前の自分の欲望だけを満たそうとするやり方で身につけた利益をいうのである。悪銭身に付かずというが、たとえ身についたとしても、悪銭である限り小利に過ぎない。

それに反して、大利とは社会責任や他に対する配慮といった心の優しさから生まれた利益を大利と呼ぶのであろう。金は儲け得ずとも小利ではなく、顔淵（孔子が愛した最も優れた弟子）

た弟子）のように大利に生き、大事に目覚めて生きた人もある。人生の一大事について目覚めることもなく、大金持ちや大臣などと…たったそれくらいの小利に生きて人生を棒に振った人もいる。

人生の一大事とは何時でもどこでも、どんなことが起ころうとも、天命に安じながら、当たり前のように人事を尽くしていく…そんな一本道に求めることに命を懸けた。今、私たちは一大事を忘れ、そんな暇もお金もないと、それを遠ざけ小利を求め大損をしながら、自分の人生をせかせかと歩いていないだろうか。

▶顔淵（孔子が愛した最も優れた弟子）



論語大学について

かつて、私たちの郷土・多久は先人たちの努力により佐賀藩内はもちろん諸藩に先駆けて邑校・東原庫舎、そして聖廟を建立。この地に「文教の里」を作り上げた。今一度、私たちは先人たちの血のにじむような努力を思い起こし、その実行に努めるべきではないでしょうか。その願いを込め、元学校長 故・不二見達朗氏が30数年前に多久市報に連載寄稿した論語解説を復刻するものです。

令和5年度 第13回 多久市議会 議会報告会の開催のお知らせ

コロナ禍で3年間対面開催を見送っていましたが、議会報告会を下記のスケジュールで開催します。議案等の審議および審査の説明を行った後、参加者の皆様と意見交換を予定しています。「多久市政はどうなっているんだ?」「市民の意見は伝わり、市政に反映しているのか?」。多久市議会に対する疑問や励まし等々、この機会に是非、ご参加いただき議員にぶつけてください。ご来場を心からお待ちしています。

日程	会場	日程	会場
11月14日(火) 19時開始	東多久公民館	11月15日(水) 19時開始	納所交流センター
	多久町公民館		南多久公民館
	西多久町公民館		北多久公民館

